



知財・事業の概要および知財ビジネス報告書作成の目的

その他      特許

QRコードを利用した店舗入店システム、SNS（LINE）アカウントを活用した顧客管理（認証・決済）システムの2つの技術を駆使し、書店を中心に無人営業化ソリューション「デジタルストア」を提供している。新たな事業開拓分野の指針を整理するために知財ビジネス報告書の作成に取り組んだ。

完全無人環境に対応したフルセルフレジ

知財ビジネス報告書への記載概要

過去～現在  
(As-Is)

知的財産（強み・壁）をいかにして生み出し、安定した事業に貢献しているかについてストーリー化する

有人営業と無人営業を組み合わせたハイブリッドモデルを展開・大規模な改修は不要・専用アプリが不要という3つの特徴をもつ**無人営業化ソリューション「デジタルストア」**を主力事業としており、**QRコードを利用した店舗入店システムと SNS（LINE）アカウントを活用した顧客管理（認証・決済）システム**の技術を用いてスーパーや地方店舗など小売業へのさらなる展開可能性がある点を整理

現在～将来  
(To-Be)

将来像の実現に向けた課題およびその解決の方向性（事業構想）を明確化する

**スタートアップ企業として創業赤字があるなか、早期黒字化を図るための実績の積上、特に既存業種以外へのサービス展開が**一番の課題であるため、当社の強みである「**低コスト導入**」へのニーズが**非常に高い企業・導入企業及び利用者にとって無人店舗の形態がなじみやすい業種・当社への売上貢献が高い業種（チェーン店形態をとる業種）**に重点的なアプローチを行うことにより、デジタル事業の加速的な事業拡大を目指すことを整理

将来像の実現に向けた実行計画をストーリー化する

アプローチ先に対し、本事業の強みを訴求する営業資料を策定・整備するため、**ターゲット別の業態に特化した営業資料作成・導入成功事例を具体的数値とともに紹介・ハイブリッド店舗運営に係るノウハウを保有している点も訴求した資料を作成、**の3つに重点を置くことを整理

「LINE」は、LINEヤフー株式会社の商標または登録商標です。「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの商標または登録商標です。

## 第一勧業信用組合からの評価結果

知財ビジネス報告書を通じて認識した強み	改めて認識した点	当社モデル「デジタルストア」の特徴（「有人/無人のハイブリッド営業、「低コスト・短期間の導入」、「LINEとQRコードを使った入店認証」）が競合他社比優位性を保っていること。
	新たに認識した点	書店、古着店、スーパー、病院内売店と対象が拡大しており、大手企業にとっても魅力的なモデルとなっていること。
知財ビジネス報告書を通じて認識した課題	改めて認識した点	当社の知財は技術的に難しいものではないが、ポイントを抑えており有効に機能している点。
	新たに認識した点	SNSを活用した顧客管理システムは、認証・決済のみならず、マーケティング強化のためにも有効に活用できる点。
将来のビジネス展開に向け金融機関としてサポートできる点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資金調達において事業の進捗に伴う運転資金ニーズへの貸出対応。</li> <li>・当組合取引先小売店舗へ当社モデルの紹介（実施済）</li> <li>・当社の営業体制に余裕ができた段階になるが、当組合が連携している地方金融機関へ当社を紹介して、当社モデルの地方展開をサポート。</li> </ul>

## Nebraskaからのコメント

知財ビジネス報告書の作成を通じて得られた新たな気づきがあったか	事業実績や（金融機関からの要望があった場合のみ）安定性分析に関して、事業計画上の安全性の見直しにつながった
知財ビジネス報告書をどう活用できそうか	知財と事業計画の見直しに活用できる